

エドヒガン

Prunus pendula form. *ascendens*

種名



分類	落葉高木	バラ科	サクラ属	俗称	エドヒガン	別名	アズマヒガン、ウバヒガン
分布	本州、四国、九州、沖縄、朝鮮、中国、台湾						
形態	葉は互生し、長さ6～12cmの長楕円形で、葉柄とともに軟毛がある。先は尾状に長くとがり、ぬちには鋭くとがった鋸歯がある。腺点は基部に近い葉のふちにある。3月下旬～4月上旬、葉が出る前に淡紅色まれに白色の花が2～5個散形状に咲く。花は5弁で直径2.3～3cm。 小花柄、萼筒、花柱の下部に毛がある。果実は球形で紫黒色に熟す。						
類似種							
生育場所	山地に自生する。						
繁殖							
他生物との関係							
配慮のポイント							
トピック							
その他							
用途	庭木、薪炭、接ぎ木の台木						

引用文献：『山溪カラー名鑑 日本の樹木』を改変